



左から、小松孝年さん、嶋村選手、
若松選手、大西勝也町長

高知FDドラフト指名選手2名来庁

「プロ野球ドラフト会議2024」において指名を受けた高知ファイティングドッグス所属の選手2名が11月15日(金)、町を訪問しました。

若松尚輝選手(横浜DeNAベイスターズ4位)は、「呼ばれるまでは不安だったが、報われたなと思った。家族やスポンサーの方々や、大方球場での試合が決め手になったと思うため、黒潮町にも感謝している。開幕1軍を目標に頑張りたい」と話し、また、嶋村麟士朗選手(阪神タイガース育成2位)は、「育成指名された時はほっとした。遠征スタートの地が大方球場。環境も良くて、1番好きな球場。とても感謝している。1日でも早く支配下登録されるよう、バットを伸ばしつつ、主軸を打てるような選手になりたい」と話しました。



試合に臨む畦地さん(左)

全国障害者スポーツ大会で準優勝

10月26日(土)から28日(月)までの3日間、佐賀県で開催された「第23回全国障害者スポーツ大会「SAGA2024」」に出場していた、黒潮町の畦地有香さんが卓球競技で準優勝しました。

同大会は、毎年開催されている全国的な障がい者スポーツの祭典で、全国から約3,500人が参加しています。

畦地さんは、「学生時には金メダルが獲得できたが、社会に出てからは金メダルが獲得できておらず、リベンジして金メダルを獲るつもりで練習してきた。結果は銀となりリベンジには届かず、悔しかった。いい試合ができたことは嬉しかった。次の大会で選ばれた時にはリベンジして金メダルを獲りたい」と話しました。



畑に種を植える園児ら

中央保育所でコメリ緑資金ボランティア助成金活動

10月21日(月)、大方中央保育所でコメリ緑資金ボランティア助成金を活用した緑化活動が行われました。(株)コメリの従業員が参加して行う同事業は、同所の4・5歳児計47名が参加し、畑やプランターにダイコンやハウレン草、イチゴ、チューリップなどの野菜や果物の種・苗を植えました。

(株)コメリ黒潮店の青木雅宏店長は、「園児の姿に元気がもらえる。お子さんが来店される機会が少ないため、こんなにたくさん子どもが居るのだなと思った。来年度以降もほかの保育所などで実施できれば」と話し、参加した子どもたちも「楽しかった」、「小さい種を植えるのが難しかった」などと話していました。



代表者によるプレゼンの様子

大方中学校でプレゼン大会

「空想をカタチにする町」をテーマにしたプレゼン大会が10月29日(火)に大方中学校で開催されました。同大会は、生徒のICT活用力、プレゼン力の育成とともに、自ら考える空想力と自らの言葉にする表現力を鍛え、探求的な学びを深める機会とすることを目的に開催され、各クラスから代表者に選ばれた8名の生徒が、地域の課題および課題を解決する方法についてプレゼンしました。

また、大会後には、役場企画調整室でCIO補佐官を務める由比良雄さんによるプレゼン力向上のための講話が行われました。